



Midori Information

「みどり通信」は、熊本
県農村振興局や市区
町村、水土里ネットなど
の職員の皆さんに、農業・
農村に関する様々な情報を
お届けするものです。

Information

□巻頭言

熊本県農林水産部 農村振興局

農村計画課 課長 野入 正憲

Topics

水土里ネット熊本からの情報

□注意喚起看板の設置状況について

□おてもやん通信の発刊

Event

□田んぼの学校 in 白川中流域 2024 の開催

Magazine

□「進藤金日子メールマガジン」VOL.85

□「宮崎雅夫メールマガジン」VOL.58

「食のみやこ熊本県」の創造を目指して参ります。

農

村計画課長の野入です。どうぞ
皆様におかれましては、益々
ご清栄のこととお喜び申し上げます。ま

た、日頃より熊本県農業農村整備事業の推
進や農村振興にご理解とご支援をいただき
心よりお礼申し上げます。

年度早々に八代地域で、遙拝頭首工改修
工事の中断、堰上げのための仮設物の流
失、幹線水路の被災等が発生しておりま
す。5,400haに及ぶ農地への水供給が危惧
されましたが、関係土地改良区の皆様によ
る日割り送水や反復利用の対応など、天候
を見ながら苦心される中、幸い、田植えは
どうにか無事に完了した状況です。関係者



熊本県農林水産部 農村振興局
農村計画課 課長 野入 正憲

の皆様のご努力に心より敬意を表しますと
ともに、引き続き県におきましても、国・
市町と連携し農家の皆様に寄り添った支援
を行って参ります。

さて、これまで巻頭言で多くの方が「食
料・農業・農村基本法改正」について触れ
てこられました。ついに改正法が5月1
9日に成立し6月5日に公布・施行されま
した。

改

めてであります。今回の法改
正は、世界の食料需給の変動、
地球温暖化の進行、人口の減少

などの社会情勢の変化に対応し、「①食料
安全保障の確保」、「②環境と調和のとれ
た食料システムの確立」、「③農業の持続
的な発展」、「④農村の振興」の4本柱と
なっています。

土地改良事業関係については、(3つ目の
柱である)農業の持続的な発展の中で、新た
に「農業生産基盤の整備・保全」が明記さ
れました。

また、(4つ目の柱である)農村の振興に

本

においては、農地等の保全に資する共同活動
の促進や、農村RMOの活動促進が盛り込
まれるなど、人口減少社会における対応が
色濃く反映された法改正となっています。

県におきましても、農業者の減
少は大きな課題です。老朽化が
進行している農業水利施設の更
新整備は喫緊の課題であり、これまでの整
備に加え、デジタル技術の導入やICT化
などにより施設の保全・管理の省力化を図
っていきます。

農地の整備では、地域農業の目標となる
地域計画と連動した基盤整備を展開すると
ともに、農村の振興では、日本型直接支払
制度の取組みに加え集落機能を補完する農
村RMOの形成により、農地の保全や農村
集落の維持につなげていきます。

このように、「農業農村整備」の着実な
推進と「農村」の活性化を進め、知事が掲
げる「食のみやこ熊本県」の創造を目指し
て参ります。

加えて、基本法に定める各種施策を具体

化する「食料・農業・農村基本計画」の策定状況など国の動きを注視するとともに、日々、皆様から頂きます多くの現場の声を、政策提案活動等を通して国に届けて参ります。

今

年は、6月17日に平年より13日遅く梅雨入りしました。線

状降水帯発生情報が発表されるなど、急な天候の変化や異常気象に対する十分な備えが重要となります。締め切りに追われてクマゼミの大合唱の中で本原稿を書いているところですが、梅雨末期の雨が心配です。大雨となりますと、農地や施設の状況が気がかりとなり見回り等されるかと思いますが、くれぐれも安全第一で実施されますようお願いします。

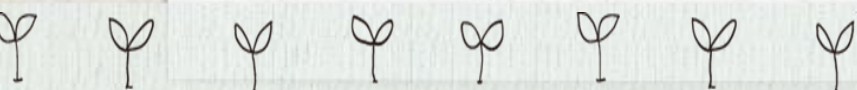
災害が発生しない事を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

本年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

2024年7月吉日

熊本県 農村計画課

課長 野入 正憲



近年、土地改良施設での転落事故等の危険性が增大している一方で、土地改良施設管理者の適切な管理に加えて、施設利用者や地域住民の安全性確保が求められています。

凡 例	
土地改良区受益	
看板設置箇所	

その中で本会では、土地改良施設における安全性確保及び事故防止を目的とした『注意喚起看板』を製作することとなりました。

土地改良区からの声

令和5年度は57土地改良区（連合）からの申し込みがあり、680枚配布しました。

設置を通して、危ない箇所を再認識することができた。

幼稚園や小学校など子供の目に多く触れる場所に意識的に設置したことで、多くの住民の安全意識の高揚に期待できる。

無断でフェンスを越えて魚釣りをしている行為が見受けられていたが、設置後、そのような行為がなくなった。

デザイン一覧

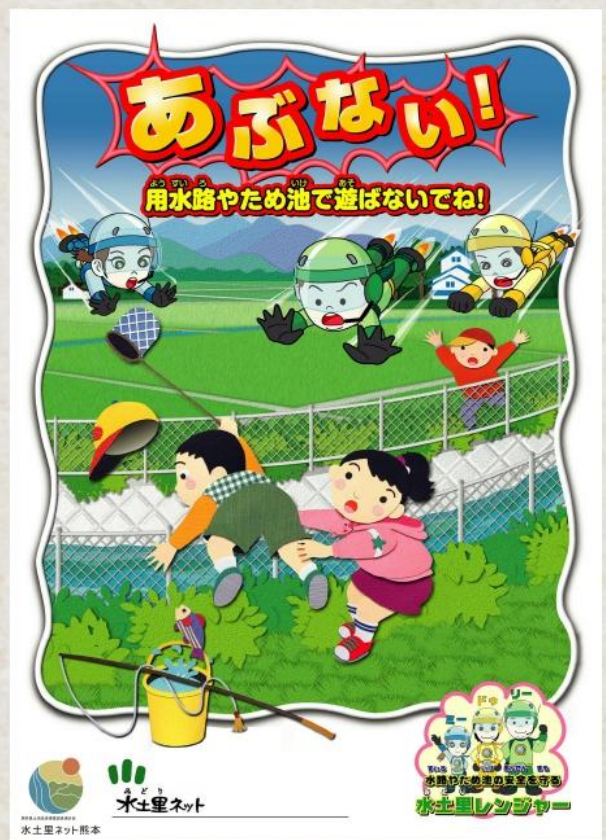
会員の皆様にはこの3タイプの中から選択されたものを配布しております。



NO. 1



NO. 2



NO. 3



①



②



③



④



令和6年度7月にくもと
水土里ネット女性の会より
「おてもやん通信第6号」が
発刊されました。

2024年
7月5日

くもと水土里ネット女性の会



おてもやん通信

第6号

くもと水土里ネット女性の会の情報や活動を発信中！

水土里マルシェ

くもと「水土里マルシェ」を開催しました



令和5年11月3日（金祝）水土里ネット熊本の屋外スペースにおいて第3回「くもと水土里マルシェ」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、多数の地域住民及び土地改良関係の皆様にご来場いただきました。

マルシェでは、県内各地の新米や新鮮な野菜・果物の販売を行い、県内4地域の新米食べ比べやジビエスープ等の試食を行ったほか、学習コーナーでは水土里ネットの役割、「田んぼダム」の取り組みや世界かんがい施設遺産のPRを行いました。

また、今回は初めて、女性の会会員デザインによるノベルティグッズを配布したり、ワークショップとして、落ち葉アートを行いました。子どもたちや保護者の方々も楽しそうに参加していました。

この「水土里マルシェ」は、女性の会が主体となって取り組む活動の一つとして今後も継続して参ります。

出品物等にご協力いただいた皆様やご来場いただいた皆様、ありがとうございました！



収穫ボランティア活動 in 山鹿

女性の会では、地域の人手不足に悩む農家への支援や、女性の会の会員が農業への理解や地域との繋がり等、それぞれの活動に活かせるヒントを得ることを目的として、令和5年度から「収穫ボランティア活動」を行うこととしました。

第一弾として、令和5年8月24日（木）に山鹿土地改良区の小林理事が栽培されているワイン用ブドウの収穫支援に15名

が参加しました。

猛暑の中、汗だくになりながら、収穫から出荷準備までをお手伝いし、女性の会会員にとってはとても貴重な体験をさせていただきました。また、人手不足の農家の方々には大変喜ばれ、とても有意義な時間となりました。

今後、他の地域でもこのような収穫ボランティアの活動を通じて農業農村に関する理解を深めていきたいと思っています。

水土里マルシェの様子や、ボランティア、研修会など、令和5年の活動報告の記事を掲載しています。
是非ご一読ください！

おてもやん通信 第6号

『水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno』



全国初となる本大会は令和5年9月27（水）～28日（木）に秋田県鹿角市で開催されました。

今大会は、男女共同参画をそれぞれの地域において推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的として、参加者が一堂に会して男女共同参画の意義をより一層深めると共に、先進事例等を学ぶことで個々のスキルアップを図るものです。

式典では、全国水土里ネット女性の会の根本会長による主催者挨拶に始まり、農林水産省農村政策部長の佐藤氏より「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」という基調講演が行われました。「女性が農村での暮らしにプラスを見出す取組みや、女性が活躍可能な環境づくりには、意識改革が重要であり、これは男性にとっても必ずプラスに働くということを知って欲しい」と佐藤氏の経験を踏まえたお話を頂きました。

続いて「男女共同参画推進社会を実現するためには」をテーマにパネルディスカッションが行われました。「土地改良区」自体の知名度の低さや、女性が活躍できる土地改良区という職場・農村社会の環境づくりの必要性について活発な意見交換がなされました。

2日目は、由右衛門果樹園の田中氏とレディースファーム代表の米田氏とで「女性たちがより豊かに、そして輝ける場所を求めて」のテーマに沿ってトーク講演が行われ、男性社会での苦勞を乗り越え、女性が活躍できる場所を作りあげたことについてのお話をいただきました。

『やまぐち水土里ネット女性の会』視察研修会



令和6年3月6日（水）に、やまぐち水土里ネット女性の会による視察研修が熊本で行われました。

熊本と山口の女性の会での活動をそれぞれが紹介した後、両県女性の会関係者による意見交換を行いました。

また、山口県は土地改良区が主となり活動をされているため、今後の連携強化や相互の活動についても検討しています。

研修終了後には意見交換会を開催し、交流を深めることとなりました。

令和6年度の予定

- 7月17日 R6くまもと水土里ネット女性の会 通常総会
- 7月～9月 収穫体験（ボランティア）予定
- 11月2日 くまもと水土里マルシェ
- 12月ごろ 視察研修会 ※日程調整中

『さが水土里ネット女性の会』研修会



令和5年9月13日（水）に佐賀市の『グランデはがくれ』にて、さが水土里ネット女性の会研修会が開催されました。

熊本県から講師として田尻会長と事務局（西）が参加し、熊本における女性の会活動事例報告を行いました。参加者からは、「熊本の活動が大変参考になった。」「女性の会が主催するマルシェにぜひ参加したい」などの声が聞かれました。

10年後の水土里ネットを考える 近畿女性交流会



令和6年2月20日（火）に京都ガーデンパレスで近畿農政局が主催となり開催された本会は、近畿管内の府県や県土連、土地改良区等の業務や運営に関わる女性職員を対象に、相互の課題の共有・解決に向けた取り組みを話し合い、参加者同士のつながりを強化することなどを目的に開催されました。

全国や熊本での取り組みの紹介、グループワークのコーディネーターとして、全国水土里ネット女性の会の西副会長と熊本県から徳永主幹の2名が参加し、女性参加者は40名、近畿農政局関係者等を含めて53名が集いました。

参加者は全国や熊本の取り組みを熱心に聞かれ、グルーptークでは時間が足りなくなる程の意見交換があり、地域は異なるものの、抱える課題や取り巻く環境はあまり変わらないことを再認識し、主体的に取り組み自ら発信する場を作ることが大事なのだと感じる機会となりました。

田んぼの学校 in 白川中流域 2024 の開催



令和6年6月22日（土）に大津町で白川中流域土地改良区協議会が主催で「**田んぼの学校 in 白川中流域**」が開催され、熊本市と大津町、菊陽町の小学生と保護者の9組22人が参加しました。

午前は小雨が降る中でしたが**田植え体験**を行いました。雨で熱さも和らぎ丁度良い気候の中、皆さん楽しそうに田んぼに入っていました。

午後の部では**キャロッピー**と**からいもくん**も登場し、参加者と一緒にクイズに挑戦してくれました。



その後は**東海大学名誉教授の市川先生**をお招きして熊本の**地下水の仕組み**や、**農地の多面的機能**についてなど様々なお話をいただきました。

市川先生ありがとうございました。



水土里ネットからの情報

リンク一覧



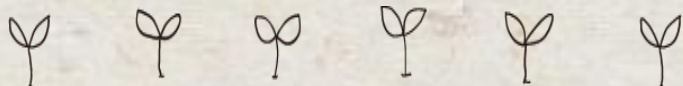
- 水土里ネット熊本平野南部
<https://kumamotoheiya.com/>
- 水土里ネット熊本市西南ホームページ
<http://midorinet-km.jp/>
- 水土里ネット小川フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/小川町土地改良区水土里ネット-おがわ-979064688835896/>
- 水土里ネット美里ホームページ
<http://misato-midori.net/>
- 水土里ネット玉名平野ホームページ
<http://www.tamana-heiya.jp/>
- 水土里ネットおおきくホームページ
<http://ookiku.jp/>



県内水土里ネットホームページ、ブログ、フェイスブック一覧や最新のブログ等の更新状況をご紹介します。



- 水土里ネット一の宮ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~itidokai/top.html>
- 水土里ネット阿蘇ホームページ
<http://www.aso.ne.jp/~aso-toti/>
- 水土里ネット八代平野北部ホームページ
<http://yatsushiro-heiya.jp/>
- 水土里ネット百太郎溝フェイスブックページ
水土里ネット百太郎溝（百太郎溝土地改良区） | Yamae-mura Kuma-gun Kumamoto | Facebook
- 水土里ネット幸野溝ホームページ
<http://www.kounomizo.jp/>



その他

「みどり通信」で紹介してほしいイベントやホームページ、ブログなどがあれば、ぜひ本会まで気軽にご連絡ください。配信先のメールアドレス変更等は、下記まで宜しくお願いします。

水と里名会熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
総務企画課 企画広報係
みどり通信担当者

Tel : 096-348-8801

Fax : 096-348-8011

<https://www.higosanae.or.jp>

サイトのQRはこちら



Snapshots

